

新宿せいが保育園 2017.3.4 第10回 成長展報告

第1号 2017年3月6日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談やご要望に応えるコンシェルジュがいるように、保育においても様々なご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=ミマモルジュとして、保育に関するご要望にお応えしていけるよう活動していきます。

株式会社カガヤ 奥山卓矢

2017年3月4日（日）に新宿せいが保育園で10回目となる成長展が行われました。保護者の観覧に先立って、保育関係者約90名が成長展を見学されていました。

「成長展」は先生方の日々の働き方にあり！

今回の成長展で工夫した点について、
小松崎先生と田崎先生にお聞きしました。

小：これまでわいらんすいのメッセージは、わらすの先生が書いていました。ですが、定員が増加したことで子どもたちも増え、わらすの職員だけで書くのは難しいと思っていました。そんな時に、乳児の先生から「せっかくだから、みんなで書こうよ！」と提案がありました。それは以前、子どもたちを担当していた先生方でもあり、そのおかげで『寺子屋』の制作に時間を使うことができました。

また、クリップ止めも工夫した点です。今回は成長展の前後1週間をクリップ止め外し週間を設け、各クラスから一人ずつ出してもらうようにしました。以前はまとめて行っていたため、間際まで作業していたこともありましたが、成長展係りが作業日を事前に設けたことで無理なく行えるようになりました。

奥：成長展当日には見れない点をたくさん改善されているんですね。成長展が終わっても先生方にとってはまだ成長展は続いているんですね。

小：はい、そうなんです。メッセージも園長や副園長先生が内容を確認することはありません。担任の先生が一番その子のことを知っているでしょ？と任されています。書いたメッセージは職員同士、クイズ形式でこの子は誰でしょう？と答え合い、クイズをしながら文章を直したりしています。

田：2歳クラスでも同じようにしていました。





お問い合わせ先

株式会社カグヤ

東京都新宿区西新宿 3-2-11

新宿三井ビルディング 2号館 10階

TEL:03-5909-7155

奥：子どもたちのメッセージにそんな工夫が隠されていたんですね。今年の研究発表も面白かったです。一昨年は「共感」、昨年は「対人知性」、今年は「感情をコントロールする力」。今回の25分の動画を作るのにも相当な時間が掛かっているのではないですか？

小：はい、安藤先生が作ってくれました。他の先生も安藤先生が作業しているのは知っているのですが、皆は普段の保育の中で動画を撮ったり、動画制作に1か月くらい掛かっていますかね。本当に日々の保育が大事です。日々の保育が成長展になっているわけですから。

奥：成長展の裏側を密着させてもらったら面白そうですね！

来年はぜひお願いします。

小・田：はい（笑）

奥：ありがとうございました。

成長展の見学を通して感じたこと

はじめて成長展に参加させて頂いたのは3年前。カグヤのクルーの子どもが新宿せいが保育園に通うようになったことをきっかけに毎年、参加させて頂くようになりました。

結婚もしていなければ子どももない自分。ましてや知らない子の作品展を見てどう感じるのだろうかと思いつつも、「新宿せいが保育園さんの行事だから観てみたい！」という思いも同時にありました。行ってみたら驚きの連続で、まずはじめに驚いたのが全国から成長展を観るために100名ほどが来られていることでした。

そして、指針の健康の領域では体重の変化をじゃがいもを使って、実際に我が子の増えた体重の重みを感じたり、身長は一円玉を用いて〇枚分伸びたと目で見て感じるもので、身近なものを通して成長の大きさを実感しました。自由画もシルエット画もぬり絵もどれもこれも子どもの成長が目に見え、0歳クラスから順に部屋を廻っていると、まるで自分の子どもが成長していくのを疑似体験しているようでした。

そして今回、小松崎先生から「日々の保育が大事です」と改めて成長展の意味や意図を教えてくださいました。子どもたちが日々成長しているように、大人になった自分も日々成長しているだろうか、そんなことを思います。はじめて成長展を観させてもらったときは、子どもたちの成長が目に見えることに驚きました。そして、今回先生方の日々の働き方が成長展に表れていると感じ、充実した保育は先生方の働き方にあると感じました。

（報告者：株式会社カグヤ ミマモルジュ 奥山卓矢）